

かながわ長寿社会開発センター

**いき[♪]
はつらつ**

高齢者を健康で、いきいきと過ごしたい—
明るく活力ある長寿社会の実現に向けた取
り組みを紹介します。

〈問合せ〉 ☎045-311-8734 FAX045-312-6302
http://www.nenrin.or.jp/kanagawa/

広がる交流、あふれる感動、輝く笑顔…

～ねんりんピック徳島2003 神奈川県選手団大活躍！～

10月18日から21日までの4日間、抜けるような秋晴れのもと、「ねんりんの 渦よ 輪になれ 踊り出せ」をテーマに、高齢者の健康と生きがいづくりを目的としたスポーツ・文化・健康・福祉等の一大祭典「第16回全国健康福祉祭（ねんりんピック徳島2003）」が、徳島県内4市15町1村で開催され、各地で熱戦と交流が繰り広げられました。

競技に先立ち、十月十八日には徳島県鳴門総合運動公園陸上競技場で総合開会式が行われ、本県選手団もソフトテニスで参加の柳下良巳さんを旗手に、清水勝夫団長



神奈川県選手団の堂々の入場行進

第十六回を迎える本大会に、本県からは卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、ソフトバレーボール、サッカーの十二種目に、横浜・川崎を除く地域から九十七名の選手が参加しました。年齢も六十歳から八十三歳と幅広く、これまでの競技歴も様々ですが、大会を待ちに待って練習を重ねてきた精鋭たちばかりです。

（かながわ長寿社会開発センター長）以下堂々と入場行進。メインスタンド前では、ソフトボールに参加の野田俊男さんが、本県と選手団を紹介する「お国自慢」を披露。にこやかに神奈川県ブルーのハンカチを振る選手の表情は、実に晴々していました。

翌十九日からは徳島県内の各市町村に分かれ、各種目競技が行われ、あちこちで、年齢を感じさせないはつらつプレーや熟練の技の数々が繰り広げられるとともに、全国から集まる仲間たちとの交流が深められました。

「競技開催地の山城町では、町長さんはじめ町民が一致協力して私たち選手を歓迎してくれた。特に、地元小学校の可愛い生徒さんが、先生と一緒に応援にかけつけてくれた時は、涙が出る程感動しました」（グラウンド・ゴルフというように、各会場では、「お四国さん」で培われた地元ボランティアの心温まるもてなしと、選手の健闘をたたえる観客の拍手や声援が溢れ、阿波踊りのように活気と情熱のある元氣一杯の大会となりました。

本県選手は日頃鍛えた成果を発揮し、太極拳が四位、剣道がベスト8と大健闘。惜しくも入賞を逃したチーム・選手も含め、誰もが、全国の人々との競技はもろろん、



「ついていけよ！」大きな声で指示が飛ぶ（サッカー）

出会いと交流に意を用い、持てる力を尽した充実感に満ちていました。

「この交流を機に、これからは他県の人たちと文通や交流試合をしよう」と、皆で話し合ったんだよ」（ペタンク）など、これからの活躍を期待できる熱いコメントも返ってきました。

今後は、この経験をもとに自身活動を深めることはもとより、それぞれの地域に帰り、高齢者のスポーツを通じた生きがいづくりの普及に向け、率先して活躍してくれることを期待しています。

なお、次回（第十七回）の全国健康福祉祭は、平成十六年十月十六日から十九日まで群馬県で開催されます。